

発行日
平成29年
11月30日
第8号

松澤 熊野神社だより

発行 松澤熊野神社
宮 司 上代 光正
崇敬会長 菅谷 喜作
氏子総代長 越川 壽一
事務会計 宮負 清一

松澤 熊野神社の神事や行事、歴史などを紹介します

ホームページ「松澤熊野神社」（千葉県旭市に御鎮座します松澤熊野神社）をご覧ください

◎ 6月9日（金） 千葉県神社総代会香取支部第64回総会

6月9日（金）午前11時から香取神宮神徳館で千葉県神社総代会香取支部第64回総会が開催され、当社からは、総代会香取支部の理事である越川氏子総代長及び事務会計が出席しました。

開会の後、伊勢神宮・香取神宮を遥拝し、国歌斉唱、敬神生活の綱領を唱和、山本総代会長の挨拶、功労者の表彰、来賓祝辞では、国会議員が国会開会中で欠席のため、秘書が出席、伊藤県議会議員・戸村県議会議員から来賓祝辞があり、被表彰者代表謝辞と続き、議事は、会務報告、平成28年度決算、平成29年度予算（案）、役員改選とすべて原案どおり可決承認され、閉会しました。

また、功労者表彰では、9名の多年奉仕者が表彰され、当社からは、事務会計の宮負清一氏が表彰されました。

◎ 7月22日（土） 境外社 薬祖大神の祇園祭



7月22日（土）、正午から上代神官により、松澤熊野神社の境外社である薬祖大神の祇園祭が行われました。昼食の後、御神輿を車に奉載して、香取市境界付近の神事の場所まで御神輿、子供神輿、笛・太鼓と続いて、祭典場で御神輿を高く掲げ、休憩所の川治さんで休憩し、その後、特別養護老人ホーム白寿園さんでは、大勢のお年寄りや職員の大歓迎を受け、御神輿を揉んだり、高く掲げたりして、勇壮な御神輿を披露しました。お年寄りも祇園祭をなつかしんでおりました。

その後、熊野神社の前で御神輿を車から下ろし、熊野神社を周回し、御神輿を揉み、高く掲げて薬祖大神の祇園祭を報告し、薬祖大神前で上代神官により還御祭が行われ、御神輿の力綱が解かれ、最後に、熊野神社境内で、区民が参加してバーベキュー大会を行って老若男女が懇親を深め、祇園祭は、終了しました。

◎ 7月29日（土） 御手洗の清掃

7月29日（土）午前8時から毎年恒例になっている松澤熊野神社御手洗の清掃が宮本区御井戸弘奉賛会6名の皆さんにより行われました。

朝から各自清掃道具や排水ポンプを持ち寄って、御井戸の水をポンプで排水し、御手洗のゴミを取り除いたり、御井戸周辺の清掃や草刈り等の作業をしていただき御手洗及び周辺をきれいに清掃していただきました。

御手洗（井戸払い） 奉賛会の皆さん（順不同）

宮 負	馨 殿
塚 本	重 殿
越 川	文 殿
菅 谷	さ く 殿
塚 本	泰 治 殿
塚 本	清 司 殿

（次頁に続く）

◎ 9月25日（日） 大しめ縄の作成



当社では、例年、例大祭にあわせて大鳥居及び御神木の杉の大しめ縄の掛け替えが行われます。

9月24日（日）に熊野神社神楽殿で宮本消防世話人と若人によって新しい大しめ縄が作成されました。

大しめ縄は、神楽殿の梁からロープを垂らして大しめ縄の端をくくりつけ、ロープを持つ人、稲わらを渡す人、稲わらをよる人、皆が息を合わせて順次、太くて長い大しめ縄を作成します。

真新しい大しめ縄は、例大祭の当日の朝、大鳥居や御神木の杉にかけられ、例大祭を迎えます。

◎ 9月29日（金）平成29年度熊野講の開催

9月29日（金）旭市の伊万里さんで、15名が出席して平成29年度の熊野講が開催されました。

上代宮司、菅谷崇敬会長、宮澤市議会議員からご挨拶をいただきました。

越川氏子総代長から28年度の熊野講の決算報告、11月26～27日の熊野本宮大社の正式参拝に26名が参加予定となっていること、来年の熊野講には、新しい会員を含めて開催すること、会員が増加するので、3年連続して欠席した会員には、ご遠慮頂き、希望者は、復帰できることについて説明があり、いずれも承認されました。

続いて、荒品崇敬会副会長の乾杯の御発声により宴に入りました。会員の皆様は、久しぶりにお会いし、近況を語り合うなど盛況でした。



挨拶する上代宮司

◎ 10月1日（日）例大祭の開催

当日は、秋晴れの好天に恵まれ、松澤熊野神社の重要な神事である例大祭が献幣使をお迎えして開催されました。

神殿神輿庫から御神輿を出し、力綱や飾りが取り付けられ、午前10時から、来賓、旧縁故者、神社役員等が参列して、手水の儀の後、参進し、昇段して、上代宮司により例大祭が執り行われました。

その後、御神輿の前で発輿祭が執行された後、宮本区長により召立ての儀が行われ、整列、行列を組み、貝の発音により発輿、鳥居先で上代宮司による祝詞奏上、楽人の楽に合わせて、舞子が舞を奉納、高く捧げられた御神輿の下をお年寄りが家内安全・健康長寿等をお祈りしてくぐりぬけ、行列は、拝殿前へ戻り、拝殿へ昇段して還御祭の後、社務所で直会を行い、例大祭を終了しました。



手水舎前における修祓の儀

(次頁に続く)



上代宮司による発輿祭



鳥居前で祝詞を奏上する上代宮司

◎ 11月23日（水）新穀感謝祭



本日は、勤労感謝の日です。全国の神社では、新穀感謝祭が執り行われます。皇室でも、天皇陛下が五穀の新穀を天神地祇に勧め、自らもこれを食してその年の収穫に感謝する新嘗祭が宮中三殿近くの神嘉殿で執り行われます。

当社では、来賓、崇敬会役員、責任役員、各区総代等神社役員が参列して、午前11時30分から新穀感謝祭が執り行われました。

新穀感謝祭は、2月17日に執り行われました五穀豊穡を祈る祈年祭に対し、農耕を助け、稲田を守ってくれた田の神に感謝して、初穂を供え、新穀で造った神饌、神酒で神様をおもてなしするお祭です。

◎ 11月26日（日）～27日（月）熊野本宮大社正式参拝

当社、神幸祭の中間年に当たる本年は、熊野本宮大社を参拝することが慣例となっており、11月26日（日）～27日（月）の1泊2日で、旧縁故者及び神社役員等25名が参加して正式参拝を実施いたしました。

午前6時に松澤熊野神社に集合し、上代宮司による安全祈願祭の後、マイクロバスで成田空港に向かい、飛行機で関西国際空港へ、観光バスに乗り換え雨の中、川湯温泉の旅館に到着、温泉につかり、懇親会の後、就寝しました。

2日目は、朝、8時30分に宿を出発し、明治22年の大洪水で流された熊野川の中州「大斎原」にある熊野本宮大社の跡地や高さ33.9メートルの日本一の大鳥居を見学した後、熊野本宮大社の鳥居をくぐり、「熊野大権現」の白い旗が並ぶ158段の石段を登り、手水のあと、拝殿に登壇し、長谷川神官による正式参拝の神事が行われ、上代宮司、越川氏子総代長、菅谷崇敬会長が玉串奉典（会長に合せて全員が二礼二拍手一礼）をし、巫女による「浦安の舞」の御神楽を見学し、直会の後、神門をくぐり、神殿前で、長谷川神官の説明の後、熊野本宮大社の上四社（家都美御子大御神、速玉之男神、熊野牟須美大神・事解之大神、天照大神）を参拝いたしました。熊野本宮大社は、来年四月の例大祭に鎮座2050年の記念式典を行うそうです。

帰りは、和歌山県白浜町の「とれとれ市場」で昼食、お土産を購入して、関西国際空港で飛行機に乗り成田空港へ、成田空港からは、送迎バスで松澤熊野神社へ到着し、無事に帰省いたしました。



大斎原の大鳥居



神門

（次頁に続く）

◎ お 知 ら せ

1 古いお札のお焚き上げについて

12月31日午後9時から松澤熊野神社境内で、古いお札やしめ縄のお焚き上げを行いますので、古いお札やしめ縄、神札を持参してお焚き上げをすることができます。

なお、当日、お焚き上げに参加できない方は、熊野神社拝殿の階段右側に古いお札やしめ縄、神札を入れる箱を12月25日からおきますので、その中に入れておいてください。宮本神社役員及び宮本区会議員が皆様に変わってお焚き上げをさせていただきます。



2 初詣は、松澤熊野神社を参拝してください

元日は、午前0時から宮本区の神社役員及び区会議員が待機し、太玉串、神札、交通安全及び家内安全のお守をご用意して、参拝客をお待ち申し上げております。氏子の皆さんには、産土神社や香取神宮の参拝後に、当社（旧郷社松澤熊野神社）を参拝してみたいはいかがでしょうか。

なお、神札、お守は、1月上旬まで販売しておりますが、太玉串を希望される方は、参拝される前日までに、氏子総代長（090-4624-1084）へ連絡してください。

参拝当日の参拝時間に合わせて準備しておきます。



3 節分祭の年男を募集しております

当社では、2月3日の節分祭に袴（かみしも）を着て社殿回廊から豆まきをし、厄払いをしていただく年男を募集しております。

年男希望者は、各区氏子総代又は、氏子総代長（090-4624-1084）へ連絡してください。



（次頁に続く）

4 お神楽祭のお稚児を募集しております

3月21日春分の日 神楽殿で、宮本区の若人によりお神楽が奉納されます。

お神楽の舞の中にお稚児の舞があり、毎年、氏子の皆様がお子様の健やかな成長を願って、神にお稚児の舞を奉納していただいております。

当社では、お稚児の舞を奉納してくださる女児を募集しております。

詳しくは、宮本区お稚児世話人又は、氏子総代長（090-4624-1084）へ連絡してください。

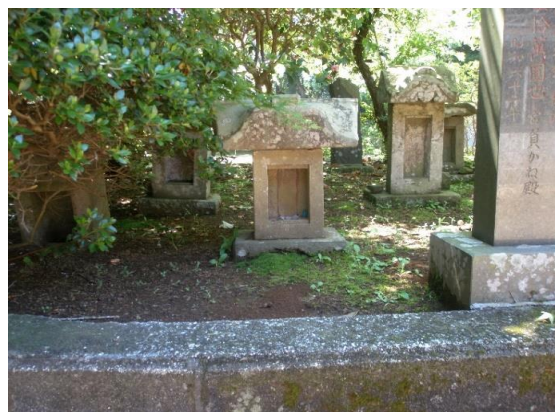


◎松澤 熊野神社の見どころ

子神社（子の権現）の祠

当社々殿の右側の女島の奥（もみじの木の手前）に子神社の小さな祠があります。

祠の中には、鉄のわらじが納められており、昔から別名を足腰の神様といわれ、足腰に痛みのある高齢者等が多く参拝されています。



子神社の祠（中央）